

平成24年度 市長への手紙…総数253通

たくさんのご意見・ご提案ありがとうございました



(旧本庄商業銀行煉瓦倉庫)

★秘書広報課 ☎1155

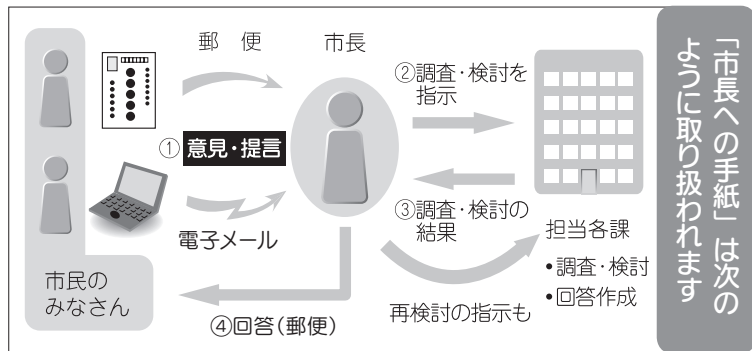
◎平成24年度「市長への手紙」の内訳

	郵便	電子メール	計
回答したもの	59	62	121
各課対応	26	15	41
匿名	10	51	61
その他	14	16	30
計	109	144	253

※その他は、回答を希望しないもの、内容がこの制度の主旨に合わないもの等です。

平成24年度の投稿総数は、253通。そのうち匿名のものや回答を希望しないもの、急を要するなどの判断で担当課が対応した結果、回答不要となったもの等を除く121通について文書で回答しました。同意があったもの80件は、市ホームページで公開しました。また、公開対象にはなりません。また、匿名での投稿にも市長がすべてに目を通し、担当部署に回付しています。ご意見・ご提案をお寄せいただく方法は次の通りです。

「市長への手紙」は、市民のみなさんから市長あてに、市政に関するご意見、ご提案等を手紙やメールでお寄せいただき、市としての公式な回答を作成し、市政運営やまちづくりに反映させていく制度です。いただいたご意見等は、市長が直接拝見し、担当部署と調整・検討のうえ、回答します。身近な要望から市の事業への提案など、今後多くさんのお手紙をお待ちしています。



「市長への手紙」は次のように取り扱われます

郵便 左のページを切り取り、必要事項を記入のうえ、封筒の形に折り込み、ポストに投函してください。(用紙は市役所総合案内や図書館・公民館等にも用意しています。)

◎回答の内訳

都市基盤	17	本庄早稲田駅、道路、歩道など
福祉・医療	22	医療費、児童扶養手当、学童保育など
教育・文化	14	体育施設、図書館など
まちづくり	15	循環バス、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫など
産業・経済	7	施設誘致、祭りなど
生活環境	17	資源ごみ、がれき、犬のふんなど
その他	29	職員対応、市税など
計	121	



インターネット 市ホームページのトップページから「市長の部屋」にアクセスし、フォームにしたがって入力し、送信してください。ファックス 番号は、☎08499です。見やすいところに「市長への手紙」と書き、住所・氏名等を記入して送信してください。

「市長への手紙」の回答は、市ホームページ「市長の部屋」で公開しています

一部ですが、広報紙でも要約してお知らせします

本庄早稲田駅西側駐輪場が 混雑していることについて

Q 4月より西側の駐輪場が満杯です。通路に駐輪されると出し入れが困難になりますし、歩道に止められると歩行者の邪魔になります。

A 本庄早稲田駅には、本市がJRから用地を借用し整備した自転車駐輪場が、駅西側（自転車53台、バイク11台）と駅東側（自転車194台、バイク41台）の2箇所あります。

現在、駅西側が混雑していますが、駅東側は比較的空いています。

市では週3日整理員を配置し、朝6時30分から8時30分まで指導、整理を行い、駅西側が満車の場合は駅東側をご利用いただくようお願いをしているところです。

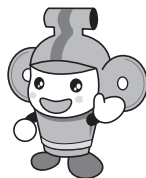
しかし駅西側では、整理員が不在の時間帯において、通路や歩道など指定場所以外への駐車が見受けられます。

今回、整理員不在時の対応として、駅西側駐輪所の柱やフェンスに案内板の取り付けをいたしました。また今後、整理員による指導、整理を徹底するとともに駅東側自転車駐輪場への誘導を行ってまいります。

(平成25年5月9日回答)

団体・グループのみなさん 市長と気軽に話をしてみませんか!?

市内で活動している団体・グループのみなさんから市長が直接お話をお聞きし、市政に活かすため、「市民と市長の対話集会」を行っています。



市の現状や課題等についてスライドなどを用い、市長からご説明します。日程等は調節しますので、お気軽にお問い合わせください。

※申込書は秘書広報課（市役所3階）にあります。また、市ホームページの「市長の部屋」からもダウンロードできます。

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の 活用について

Q 「広報ほんじょう1月号」の市長コラム「しんげの一言メッセージ」を拝見しました。旧本庄商業銀行煉瓦倉庫（旧ローヤル洋菓子店）について一市民として要望します。耐震補強を施し、中山道沿いなので中山道の宿場町本庄宿の資料館として、また本庄の観光名所の一つとして整備、公開してほしいと思います。

A この建物に関する早稲田大学創造理工学部建築学科の4つの研究室合同のプロジェクトチームの調査結果では、南北に長い壁面や二階の床の強度不足があるものの、鉄骨フレームによる補強方法により耐震基準を満たすことができ、内部活用も可能との結論が示されています。私自身もこの結論につきまして大変喜ばしく感じておりますとともに、この建物を持つ地域活性化に資する可能性について大きな期待を持っております。

一方で、この建物は明治29年8月に建設されてから116年が経過しており、内部活用に向けては、建築法規上の課題など様々な問題を解決していかなければならないことも想定されます。

これから市民の皆様のご意見をいただきながら、問題の一つ一つを解決し、また、財源なども勘案して、地域活性化により役立つような活用方法を検討してまいりたいと考えております。(平成25年1月29日回答)



※煉瓦倉庫の保存・活用を考えるシンポジウムにはたくさんの人が参加しました。(6月2日)